名古屋地方気象台

愛知県地震概況
令和５年（2023 年）５月

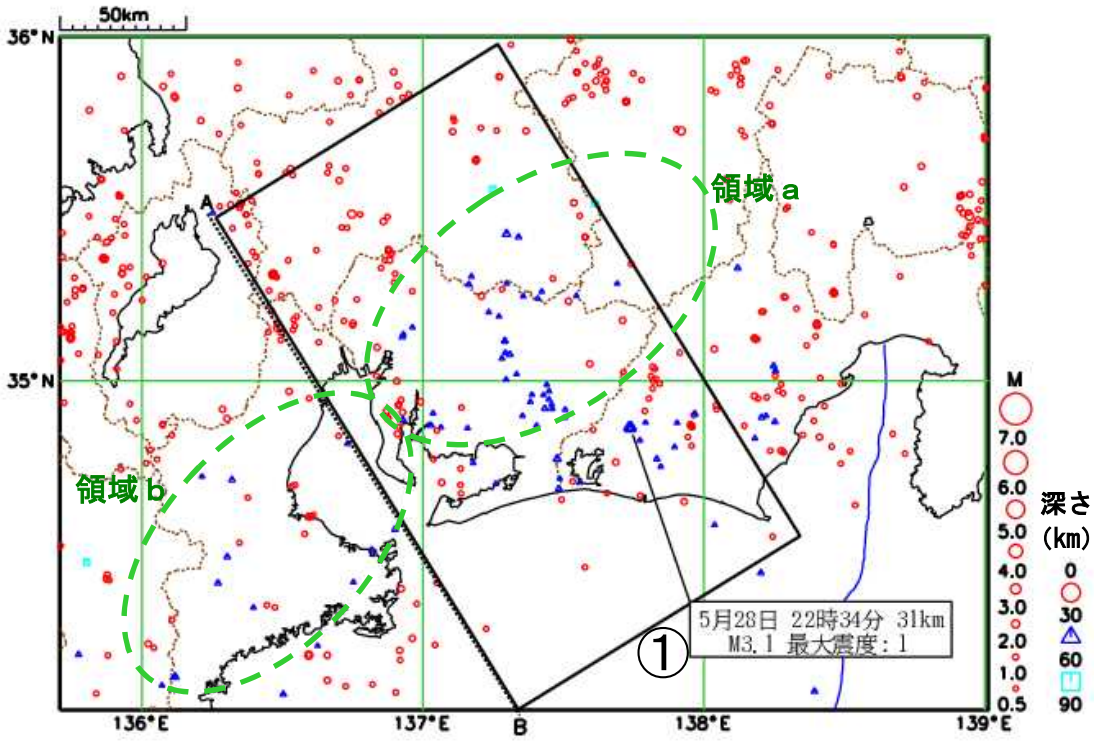
この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

○概況

１．愛知県内で震度１以上を観測した地震の状況
　５月に愛知県内で震度１以上を観測した地震が５回発生しました。

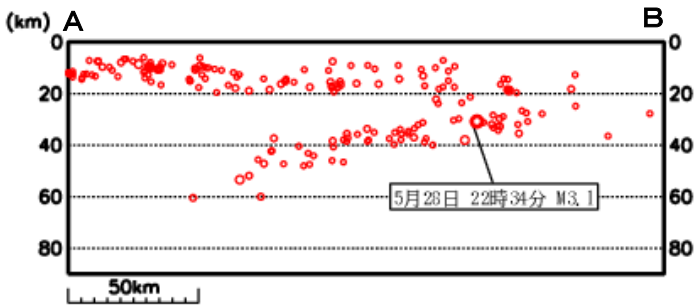
２．愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震
　①28 日 22 時 34 分に静岡県西部で M3.1 の地震（最大震度１　深さ 31km）が発生しました。

３.深部低周波地震の活動状況
・東海（領域ａ）
　　２日、５～６日、19 日
・紀伊半島北部（領域ｂ）
　　16 日、24 日



震央分布図（2023 年５月１日～31 日　深さ０～90km　M≧0.5）

深部低周波地震（微動）
深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。
（注）Ｍはマグニチュード（地震の規模）の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、Ａ－Ｂに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ 25km 程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

○県内で震度１以上を観測した地震

能登半島沖（１頁目震央分布図領域外）

５月５日 14 時 42 分に能登半島沖で発生した M6.5 の地震（深さ 12km）により、石川県珠洲市で震度６強を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・中国・四国地方にかけて震度５強～１を観測しました。愛知県で震度２～１を観測しました（図１）。この地震は地殻内で発生しました。

同日５日 21 時 58 分に能登半島沖で発生した M5.9 の地震（深さ 14km）により、石川県珠洲市で震度５強を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越・北陸・近畿・四国地方にかけて震度５弱～１を観測しました。愛知県で震度１を観測しました（図２）。この地震は地殻内で発生しました。

石川県能登地方では、2018 年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020 年 12 月から地震活動が活発になり、2021 年７月頃からさらに活発になっています。2023 年５月中もその傾向は継続しています。

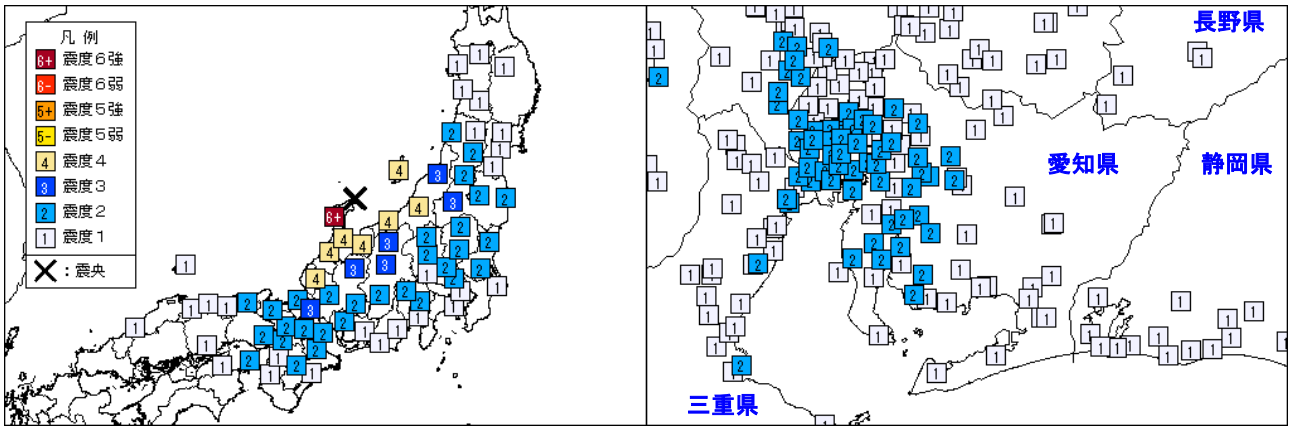


図１　５月５日 14 時 42 分 M6.5　震度分布図
左：（地域別、×：震央）、右：拡大図（観測点別）

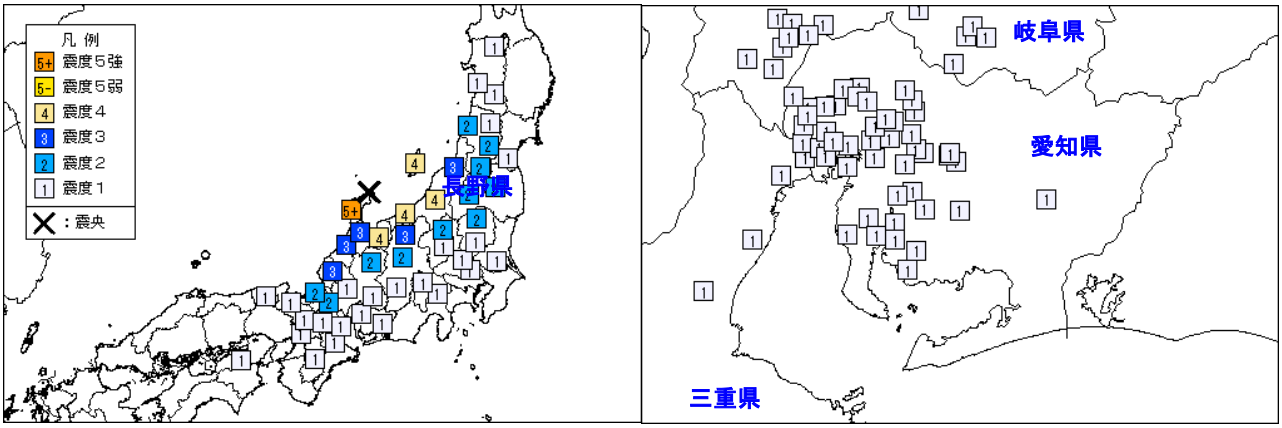


図２　５月５日 21 時 58 分 M6.5　震度分布図
左：（地域別、×：震央）、右：拡大図（観測点別）

新島・神津島近海（１頁目震央分布図領域外）

５月 22 日 16 時 42 分に新島・神津島近海で発生した M5.3 の地震（深さ 11km）により、東京都利島村で震度５弱を観測したほか、関東・東海・甲信地方で震度４～１を観測しました。愛知県で震度１を観測しました（下図）。この地震はフィリピン海プレートの地殻内で発生しました。

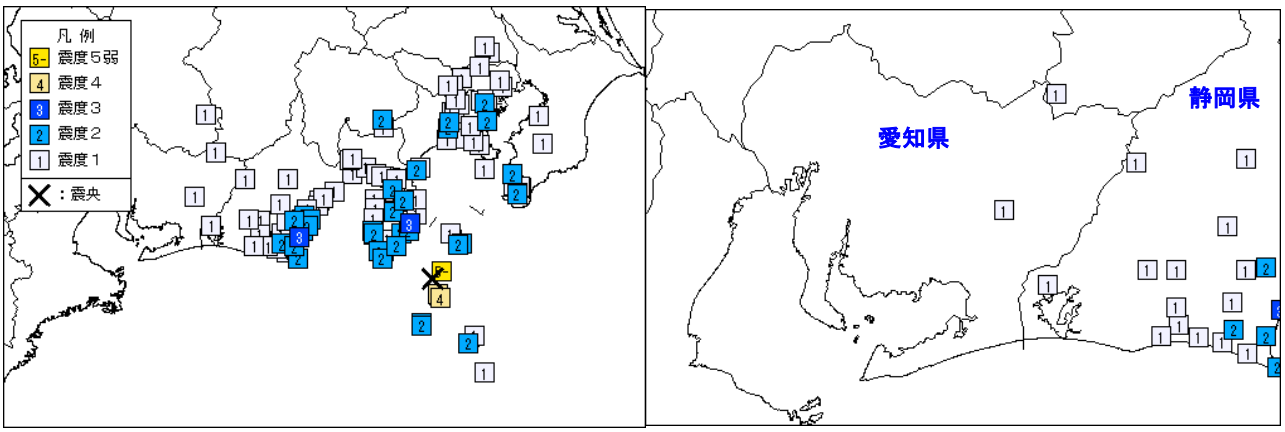


図　５月 22 日 16 時 42 分 M5.3　震度分布図
左：（観測点別、×：震央）、右：拡大図（観測点別）

千葉県東方沖（１頁目震央分布図領域外）

５月 26 日 19 時 03 分に千葉県東方沖で発生した M6.2 の地震（深さ 50km）により、茨城県、千葉県で震度５弱を観測したほか、東北・関東・東海・甲信越地方にかけて震度４～１を観測しました。愛知県で震度１を観測しました（下図）。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

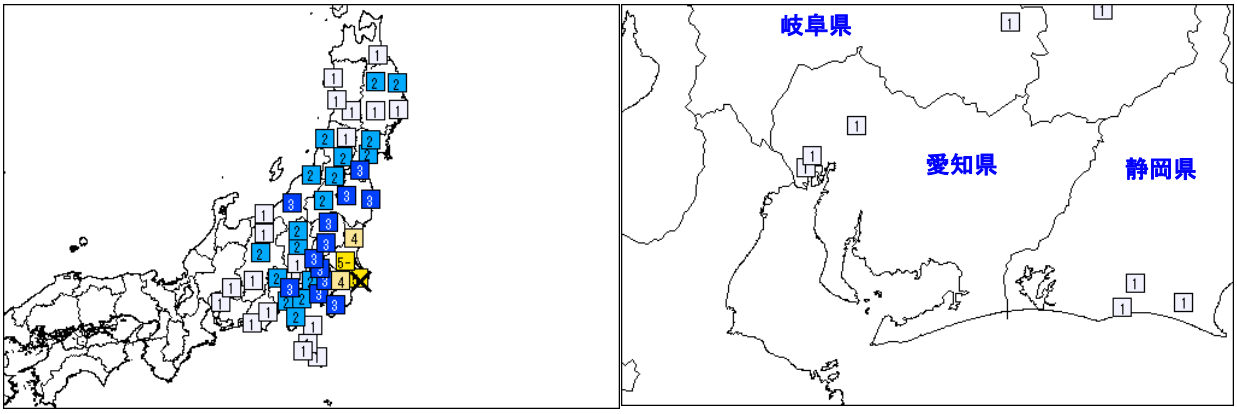


図　５月 26 日 19 時 03 分 M6.2　震度分布図
左：（地域別、×：震央）、右：拡大図（観測点別）

静岡県西部（１頁目震央分布図①）

５月 28 日 22 時 34 分に静岡県西部で発生した M3.1 の地震（深さ 31km）により、新城市で震度１を観測したほか、静岡県で震度１を観測しました（下図）。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

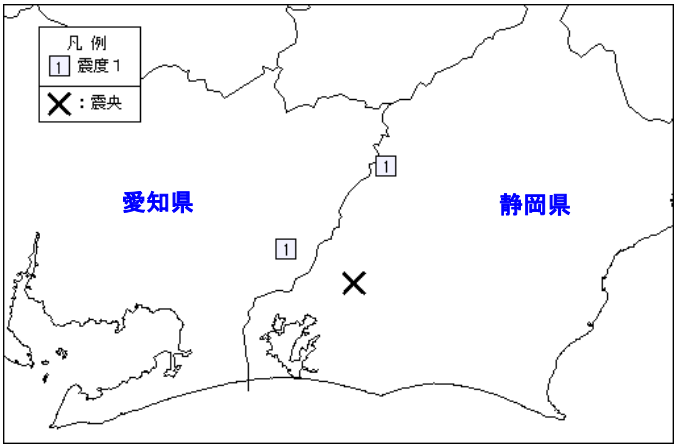


図　５月 28 日 22 時 34 分 M3.1　震度分布図
（観測点別、×：震央）

○震度１以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
※2023 年 05 月 05 日 14 時 42 分	能登半島沖	37°32.3’N	137°18.2’E	12km	M6.5
※2023 年 05 月 05 日 14 時 42 分	石川県能登地方	37°31.1’N	137°18.8’E	15km	M5.4
※2023 年 05 月 05 日 14 時 45 分	石川県能登地方	37°30.6’N	137°15.9’E	12km	M3.9
※2023 年 05 月 05 日 14 時 46 分	石川県能登地方	37°31.9’N	137°19.6’E	12km	M3.1

各地の震度

愛知県　震度 2：名古屋千種区日和町,名古屋北区萩野通＊,名古屋西区八筋町＊
名古屋中村区大宮町＊,名古屋昭和区阿由知通＊,名古屋瑞穂区塩入町＊
名古屋熱田区一番＊,名古屋中川区東春田＊,名古屋港区金城ふ頭＊
名古屋港区春田野＊,名古屋港区善進本町＊,名古屋南区鳴尾＊,半田市東洋町＊
春日井市鳥居松町＊,愛知津島市埋田町＊,刈谷市寿町＊,豊田市小坂町＊
豊田市保見町＊,安城市横山町＊,西尾市一色町,西尾市矢曽根町＊,常滑市飛香台
知立市弘法＊,尾張旭市東大道町＊,高浜市稗田町＊,豊明市沓掛町＊,日進市蟹甲町＊
東郷町春木＊,大治町馬島＊,蟹江町蟹江本町＊,飛島村竹之郷＊,阿久比町卯坂＊
東浦町緒川＊,愛西市稲葉町,愛西市石田町＊,愛西市江西町＊,愛西市諏訪町＊
清須市須ケ口＊,清須市春日振形＊,清須市西枇杷島町住吉＊,弥富市神戸＊
弥富市前ヶ須町＊,愛知みよし市三好町＊,あま市七宝町＊,あま市木田＊
あま市甚目寺＊

震度 1：豊橋市向山,豊橋市東松山町＊,豊川市小坂井町＊,豊川市諏訪＊,豊川市一宮町＊
蒲郡市御幸町＊,蒲郡市水竹町＊,新城市作手高里松風呂＊,新城市作手高里縄手上＊
田原市福江町,田原市田原町＊,名古屋中区市役所＊,名古屋中区県庁＊
名古屋守山区下志段味＊,名古屋守山区西新＊,名古屋緑区有松町＊
名古屋名東区名東本町＊,名古屋天白区島田＊,岡崎市若宮町,一宮市西五城＊
一宮市木曽川町＊,一宮市緑＊,碧南市松本町＊,豊田市小坂本町,豊田市大洞町
豊田市藤岡飯野町＊,豊田市大沼町＊,豊田市長興寺＊,豊田市小原町＊
西尾市西幡豆町＊,西尾市吉良町＊,犬山市五郎丸＊,中部国際空港
愛知江南市赤童子町＊,小牧市安田町＊,稲沢市祖父江町＊,稲沢市平和町＊
稲沢市稲府町＊,東海市加木屋町＊,大府市中央町＊,岩倉市川井町＊,豊山町豊場＊
大口町下小口＊,扶桑町高雄＊,南知多町豊浜,武豊町長尾山＊,幸田町菱池＊
北名古屋市西之保＊,北名古屋市井瀬木＊,長久手市岩作城の内＊

※を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示します。

※2023年05月05日21時58分　能登半島沖　37°31.5'N　137°14.1'E　14km　M5.9 ※2023年05月05日21時59分　石川県能登地方　37°31.7'N　137°15.1'E　11km　M4.2 愛知県　震度　1：新城市作手高里松風呂＊,名古屋千種区日和町,名古屋北区萩野通＊ 名古屋西区八筋町＊,名古屋昭和区阿由知通＊,名古屋瑞穂区塩入町＊ 名古屋港区金城ふ頭＊,名古屋港区春田野＊,名古屋港区善進本町＊ 名古屋南区鳴尾＊,名古屋守山区下志段味＊,名古屋名東区名東本町＊ 名古屋天白区島田＊,岡崎市若宮町,半田市東洋町＊,愛知津島市埋田町＊ 碧南市松本町＊,刈谷市寿町＊,豊田市小坂本町,豊田市小坂町＊,豊田市長興寺＊ 安城市横山町＊,西尾市一色町,西尾市矢曽根町＊,常滑市飛香台,知立市弘法＊ 尾張旭市東大道町＊,高浜市稗田町＊,豊明市沓掛町＊,日進市蟹甲町＊,東郷町春木＊ 蟹江町蟹江本町＊,飛島村竹之郷＊,阿久比町卯坂＊,愛西市稲葉町,愛西市江西町＊ 愛西市諏訪町＊,清須市春日振形＊,北名古屋市井瀬木＊,弥富市神戸＊ 弥富市前ヶ須町＊,愛知みよし市三好町＊,あま市木田＊,あま市甚目寺＊ 長久手市岩作城の内＊ ※を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示します。
2023年05月22日16時42分　新島・神津島近海　34°28.5'N　139°13.0'E　11km　M5.3 愛知県　震度　1：新城市作手高里松風呂＊
2023年05月26日19時03分　千葉県東方沖　35°38.4'N　140°40.3'E　50km　M6.2 愛知県　震度　1：名古屋港区春田野＊,名古屋守山区西新＊,飛島村竹之郷＊
2023年05月28日22時34分　静岡県西部　34°51.7'N　137°44.2'E　31km　M3.1 愛知県　震度　1：新城市乗本

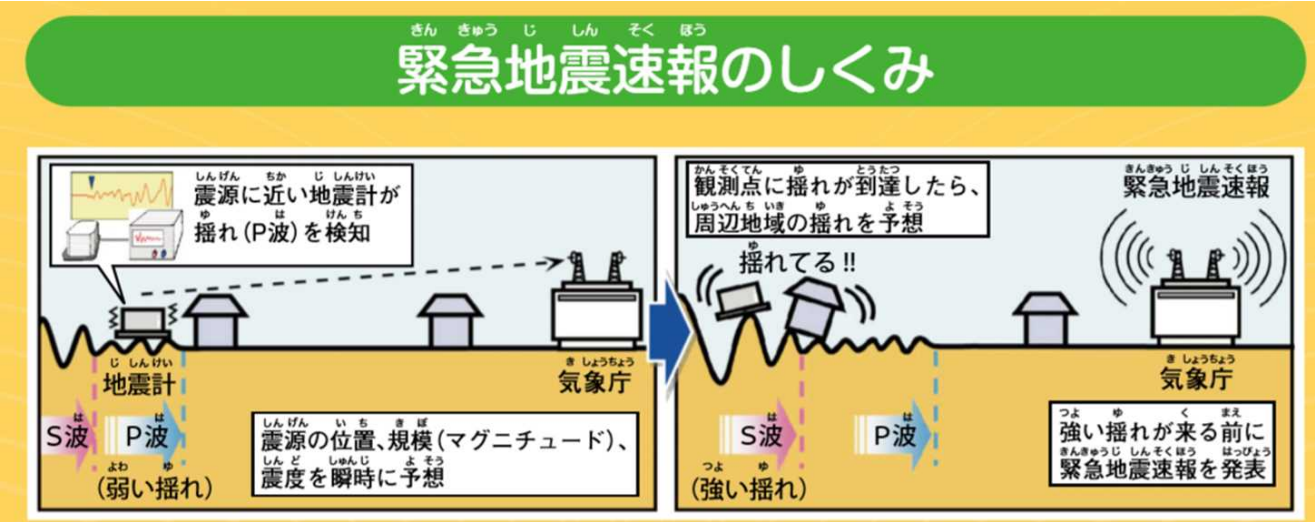
（注　＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。
※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。
※2020年９月以降に発生した地震を含む図については、2020年８月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

緊急地震速報について

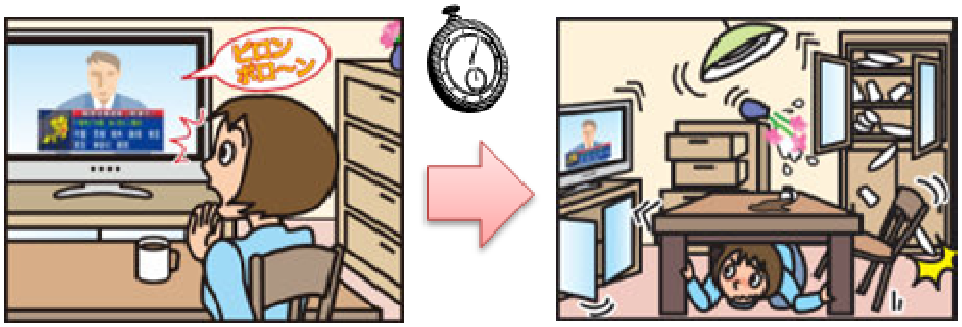
緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。強い揺れの前に、自らの身を守ったり、列車のスピードを落としたり、あるいは工場等で機械制御を行うなどの活用がなされています。

地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わっていきます（地震波）。地震波にはＰ波（Primary「最初の」の頭文字）とＳ波（Secondary「二番目の」の頭文字）があり、Ｐ波の方がＳ波より速く伝わる性質があります。一方、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後から伝わってくるＳ波です。このため、地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わるＰ波を検知した段階で Ｓ 波が伝わってくる前に危険が迫っていることを知らせることが可能になります。



緊急地震速報は、地震が発生してから、その揺れを検知し、解析して発表する情報です。

一般に、緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、場合によっては緊急地震速報が強い揺れの到達に間に合わないことがあります。



強い揺れまでの時間はわずかしかありません
まわりの人に声をかけながら　あわてず、まず身を守りましょう！！

（参考）政府インターネットテレビ：緊急地震速報～その時どう動く？「数秒間の心がまえ」
https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24210.html